

Sustainability Report 2026

福井県民生活協同組合
サステナビリティレポート



ホームページ



SNS一覧



SDGsの取り組み



COOP 県民せいきよう 福井県民生活協同組合
〒910-8557 福井市開発5丁目1603番地

0120-016-165 【受付時間】
月～金曜日/8:30～20:00
土曜日/9:00～17:00
おかけ間違いがないように、番号をお確かめください。



この製品は、FSC®
認証材、再生資源、
およびその他の管
理原材料から作ら
れています。



目次

理念・ビジョン	1
ごあいさつ	2
県民せいきょう概要	3
データで見る2025年度の取り組み	5
2025年度のできごと	7
安全・安心の取り組み	9
産直・地産地消	10
安心できるまちづくり(地域へのお役立ち)	11
組合員活動・総代・市民活動助成金	13
事業を通じたお役立ち	15
多様性を認め合う活力ある組織をめざして	17
再生可能エネルギー・3Rの推進	19
各種協定締結一覧・自治体関係団体委員一覧	21
SDGsの取り組み	22



ごあいさつ

2025年度は、世界各地で続く紛争や不安定な国際情勢を背景とした、長期化する原油高や円安によるコストプッシュ型のインフレが続き、組合員の皆さまの暮らしにとって極めて厳しい状況が続いた一年でした。実質賃金が物価上昇に追いつかないという家計の苦しさに対し、当生協では、「暮らし応援全国キャンペーン」や家計応援の強化を通じて、日々の暮らしを支えるお役立ちに注力してまいりました。また、2024年に発生した能登半島地震および能登半島豪雨災害に対しては、被災地の皆さまが一日も早く平穏な日常を取り戻せるよう、組織を挙げて息の長い支援を継続して取り組んでおります。

地域との関係においては、持続可能な社会(SDGs)の実現に向けた歩みをさらに加速させました。再生可能エネルギー事業では「COOP黒河川水力発電所」が稼働を開始し、環境負荷の低減に大きく寄与しました。また、食のセーフティネットとして「福井県フードバンク連絡会」を通じた活動を強化し、ハーツ全店での「フードドライブポスト」常設化や子ども食堂への支援拡大により、誰一人取り残さない地域づくりを推進いたしました。さらに、福井弁護士会との連携による「暮らしの相談窓口」の開設や、多様な働き方を支援する労働者協同組合づくりの推進など、地域社会の不安に寄り添い、共に解決をめざす取り組みを広げてまいりました。組合員をはじめ関係者の皆さまのご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

2026年度、当生協は新たな未来へ向けた大きな転換点を迎えます。本年より、将来を見据えた「2035年ビジョン」および、その最初の5カ年計画である「第11次中期計画(2026～2030年度)」がスタートします。「協同の力で未来につなぐ ～思いをひとつに新たな挑戦へ踏み出そう～」をスローガンに掲げ、宅配、店舗、福祉、共済、生活支援などの各事業を融合させた「生活インフラ事業者」として、組合員一人ひとりのライフステージに応じたお役立ちを追求してまいります。

社会情勢は依然として不透明ですが、生協の原点である「人と人との温もりのあるつながり」を大切にし、地域社会の課題解決に一層貢献してまいります決意です。

今後とも、皆さまの変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

福井県民生活協同組合
理事長 檜原 弘樹



理念・ビジョン

2035年ビジョン 第11次中期計画(2026年～2030年)

理念

組合員の幸せと地域社会のために

めざす理想的な姿

「食と福祉と助け合い」の事業と活動と地域のネットワークによるシナジー効果を発揮し、「安全・安心のふくい」づくりに、組合員と職員、地域との協同の力で高い志を持って挑戦し続ける。

大切にしたい組合員価値

- 安全・安心** 命と健康を守る食とくらしの基盤を提供し続けること。
- 参加・参画** 誰もが気軽にに関わり、共に生協をつくっていきける民主的な場を保障すること。
- お役立ち** 子育てから高齢期まで人のあらゆる場面で寄り添い、くらしを支える存在であること。
- 安定した経営** 職員のやりがいと誇りを守りながら、持続可能で挑戦し続ける経営を貫くこと。

使命(ミッション) 食の安全とくらしの安心で組合員と地域へのお役立ち

福井県民生協が2035年にめざす姿は、「つながる・助け合う・誰もが安心してくらせる福井」を創り出す、地域に欠かせないオンラインの消費生活協同組合です。組合員のくらしを支える包括的な「生活インフラ」としての役割を果たし、地域社会の持続可能性に大きく貢献する存在となることをめざします。

2026年度スローガン

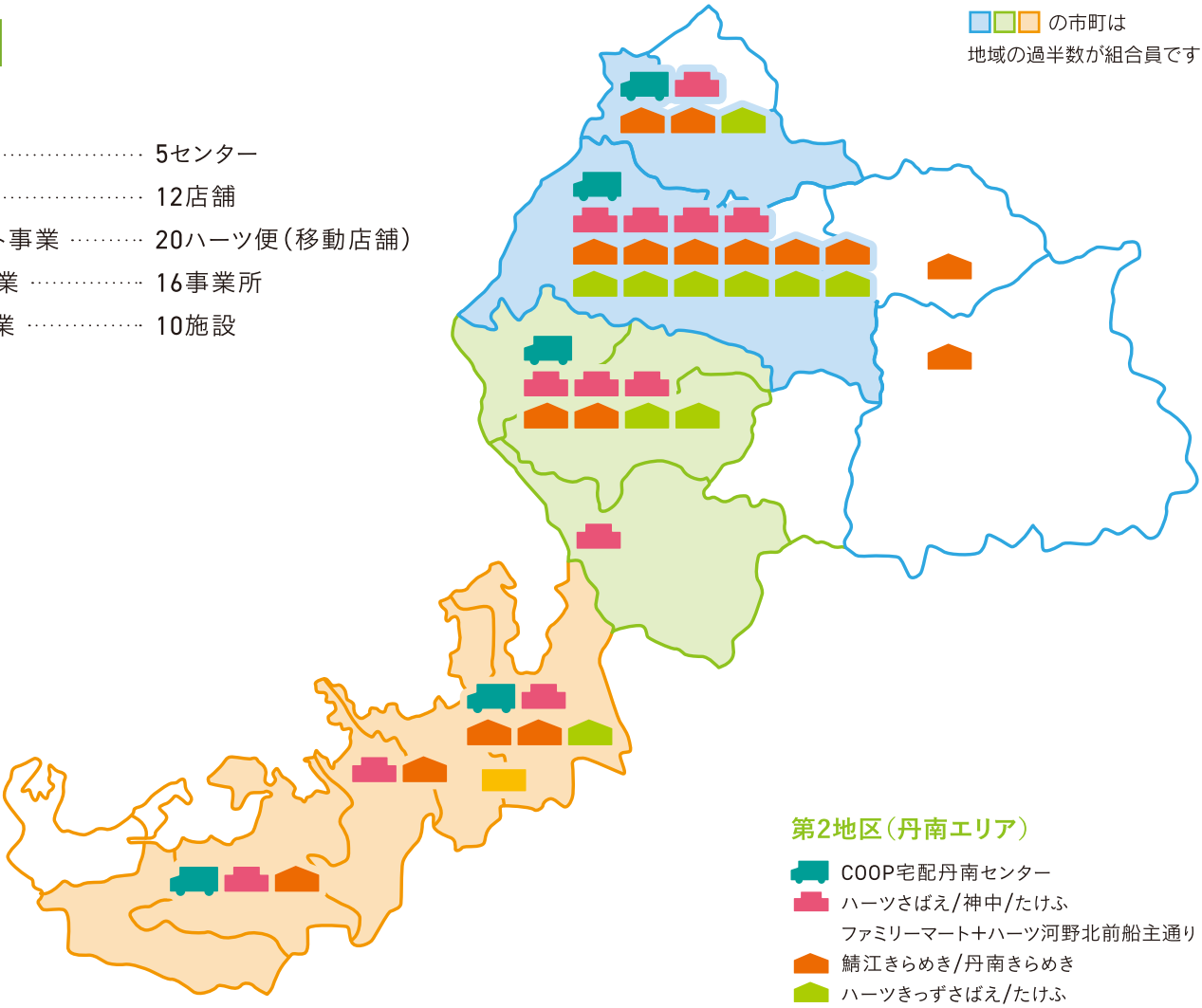
協同の力で未来につなぐ ～思いをひとつに新たな挑戦へ踏み出そう～

県民せいきょう概要

組織概要

事業概要

宅配事業 5センター
店舗事業 12店舗
くらしのサポート事業 20ハーツ便（移動店舗）
高齢者介護事業 16事業所
子育て支援事業 10施設
共済事業
再エネ事業



第1地区（坂井・福井・奥越エリア）

- COOP宅配坂井センター/福井センター
- ハーツはるえ/羽水/学園/志比口/恐竜
- 金津きらめき/坂井きらめき/大野きらめき/勝山きらめき/岡保きらめき/羽水きらめき宝永きらめき/江守きらめき/社きらめき/鮎川きらめき（坂井きらめきサテライト）
- ハーツきつずはるえ/羽水/学園/志比口/湊児童クラブ/日之出児童クラブ/啓蒙児童クラブ

市町別組合員数と世帯加入率

県内世帯加入率が58.1%になりました。現在、福井市・坂井市・鯖江市・越前市・越前町・南越前町・敦賀市・小浜市・美浜町・若狭町・おおい町では、地域の過半数（2世帯に1世帯）の方が加入されています。

	組合員数	世帯数	加入率		組合員数	世帯数	加入率		組合員数	世帯数	加入率
福井市	62,546人	108,678世帯	57.6%	鯖江市	19,649人	25,616世帯	76.7%	敦賀市	17,203人	28,057世帯	61.3%
あわら市	4,092人	10,211世帯	40.1%	越前市	17,842人	31,333世帯	56.9%	小浜市	8,097人	12,131世帯	66.7%
坂井市	17,502人	32,891世帯	53.2%	越前町	4,399人	6,574世帯	66.9%	美浜町	2,637人	3,612世帯	73.0%
大野市	3,861人	10,646世帯	36.3%	池田町	442人	886世帯	49.9%	若狭町	4,626人	4,738世帯	97.6%
勝山市	2,673人	7,506世帯	35.6%	南越前町	1,852人	3,147世帯	58.8%	おおい町	1,745人	3,213世帯	54.3%
永平寺町	3,335人	7,554世帯	44.1%	第2地区計	44,184人	67,556世帯	65.4%	高浜町	1,595人	4,464世帯	35.7%
第1地区計	94,009人	177,486世帯	53.0%					第3地区計	35,903人	56,215世帯	63.9%

※上記以外に県外在住の組合員が1,016人いらっしゃいます。 組合員数（人）：2026年 3月31日現在 世帯数（世帯）：2026年 4月1日現在

事業報告

1万円未満は切り捨てています。
※1宅配事業の中には、葬祭事業の事業高も含めています。
※2共済の保有件数は、《たすけあい》・《あいぶらす》・《ずっとあい》・《学生総共済》の合計です。

2025年度実績

	実 績	前 年 比
組合員数	175,112人	101.1%
出資金	101億7,173万円	100.7%
総事業高	281億8,451万円	102.3%
事業高	宅配事業※1	126億6,533万円 99.6%
	店舗事業	124億1,322万円 103.6%
	福祉事業	28億1,194万円 108.0%
	共済事業	2億4,195万円 101.4%
	再エネ発電事業	5,206万円 -
共済保有件数※2		70,437件 100.2%
経常剰余金		2億4,865万円 94.6%

2026年度計画

	計 画	前 年 比
組合員数	177,500人	101.4%
出資金	102億2,400万円	100.5%
総事業高	295億2,200万円	104.7%
事業高	宅配事業※1	130億1,300万円 102.7%
	店舗事業	130億1,200万円 104.8%
	福祉事業	31億6,400万円 112.5%
	共済事業	2億4,300万円 100.4%
	再エネ発電事業	9,000万円 172.9%
共済保有件数※2		71,000件 100.8%
経常剰余金		2億円 80.4%

●職員数 1,838名
正規職員381名、定時職員783名、N職員103名、アルバイト職員571名

●グループ会社
エルシーコープ株式会社/株式会社コープサービス福井/ふくいレインボーファーム株式会社/コンビニハーツ株式会社

●関係団体
日本生活協同組合連合会/日本コープ共済生活協同組合連合会/生活協同組合コープ北陸事業連合/福井県生活協同組合連合会
一般社団法人ほのぼのハーツ/社会福祉法人きらめき福祉会（きらめきの里 鯖江）/公益社団法人ふくい・くらしの研究所/福井虹の会/福井県産直協議会
※2026年4月1日現在

2026年度 役員

		氏 名	備 考			氏 名	備 考
常 勤	代表理事 理事長	檜原 弘樹	全体統括	非 常 勤	理 事	田中 弓恵	坂井エリア
	代表理事 専務理事	中川 敦士	内局統括、事業ネットワーク・宅配・共済管掌			伊藤 麗子	坂井エリア
	上席常務理事	広辻 光生	管理・組織NW・JQA進捗管掌			森下 佳代子	奥越エリア
	常務理事	中川 政弘	くらしのサポート・ふくいレインボーファーム管掌			牧野 久美子	福井エリア
非 常 勤	理 事	野村 伸一	店舗・商品開発・食の安全・産直推進管掌			神近 葉子	福井エリア
		山根 国弘	事業連帯分野			松本 真貴	福井エリア
		南保 勝	金融・経済分野			海岸 元子	丹南エリア
		小林 正能	リスク管理・防災・環境分野			内田 桃	丹南エリア
		山本 道隆	報道分野			前田 和代	敦賀エリア
		小林 一	労働福祉分野			佐竹 由稀	若狭エリア
		青木 浩一	食品安全分野		監 事	中山 哲弥	会計分野
		小林 秀夫	経営分野			志田 順子	坂井エリア
		土屋 秀樹	医療・福祉分野			林田 喜久恵	福井エリア
		八原 政和	食育・地産地消分野			福田 愛子	丹南エリア
						松井 直美	若狭エリア



安全・安心

食の安全

生協の産直

安全確認業務

商品検査数 **8,023**件
工場点検数 **29**件

産直産地

生産者・団体者数 **102**
(福井県:67/県外:35)
・第1地区 **41**
・第2地区 **10**
・第3地区 **15**



産直交流会

ハーツ恐竜1周年祭

宅配事業

宅配センター **5**センター
事業高 **12,665**百万円

店舗事業

ハーツ **12**店舗
事業高 **12,413**百万円



参加・参画

組合員の声

組合員活動

組合員の声

合計 **149,804**件
・商品品質お申し出 **4,148**件
・接客その他お申し出 **4,408**件
・良い声 **8,446**件
・企画・品揃え要望 **957**件
・意見要望 **3,647**件
・問い合わせ **85,177**件
・地域の声 **144**件
・その他 **42,877**件

総代

坂井・奥越・福井エリア **260**人
丹南エリア **123**人
敦賀・若狭エリア **117**人

組合員活動

運営参加 **5,469**人
活動参加 **20,227**人
コープの会 **26**コープの会



ひろみちお兄さんと親子体操

第47回通常総代会



お役立ち

お買物支援

くらしのサポート

介護

地域へのお役立ち

福祉事業

きらめき **14**施設
ハーツきず・児童クラブ **9**施設
放課後等デイサービス **1**施設

共済事業

共済保有件数 **70,437**件
共済加入率 **21.3%**

お買物支援

おつかいさん **21,996**人利用
ハーツ便 **1,303**停留所
・第1地区 **20**台
・第2地区 **9**台
・第3地区 **5**台
お買物バス **6**台
13台

はじめてばこ

お届け数 **2,404**件

市民活動助成金

15団体に**100**万円支援

食事宅配

食事宅配 **11,406**食(週平均)
介護食・医療食 **2,238**食(週平均)

みれいの会

会員数 **3,127**人
葬儀年間 **97**回施行

きらめきくらしのサポート

3,272回**927**人利用
総労働時間 **5,163**時間

環境

エシカル消費

地球温暖化・再生エネルギー

エシカル賞品の普及

対象商品供給高 **43,719**千円
※25年度春・秋キャンペーン実績

再生可能エネルギー

太陽光発電(設備容量) **4,498.5kw**
水力発電(総発電量) **3,130.0kw**



COOP黒河川水力発電所



安定した経営

働きがいのある職場づくり

受賞

プラチナくるみん認定企業

高い水準で仕事と子育ての両立を支援する優良企業として認定を取得しています



プラチナえるぼし認定企業

女性が個性と能力を十分に発揮し活躍できる職場環境を整備している優良企業として認定を取得しています



認知症バリアフリー宣言

認知症やそのご家族がいつまでも安心してくらす社会の実現に賛同しています



	世の中のできごと	県民生協のできごと
4月	◆米国が相互関税を打ち出し、世界の通商秩序と金融市場に緊張が走る ◆大阪・関西万博が4月13日に開幕 ◆米の価格高騰が家計負担の象徴的な話題となり、食費への不安が広がる	ゆうき 結城きらめき・ハーツきっず清水が仲間入り 県民生協のグループ会社「株式会社ケア・サービス・アイ」の事業統合により、結城きらめきとハーツきっず清水が仲間入りしました。 ハーツ全店でフードドライブポスト常設 近年の物価高騰による社会的ニーズの高まりを受け、4月よりハーツ全店にフードドライブポストを常設し、日常的に食品などの寄付を受け付け、地域の福祉団体にお渡しをしています。 春の地区総代会議 5月8～17日、県内6会場とオンラインにて288人の総代のみなさんに参加いただき、地区本部活動のまとめと方針、また第47回通常総代会の議案を提案し、理解を深めていただきました。 ハーツ羽水・はるえ リフレッシュオープン ハーツ羽水は6月7日、ハーツはるえは6月27日にそれぞれリフレッシュオープンし、お買物しやすい売り場づくりや品揃えの強化を行いました。 COOP黒河川水力発電所 開所式 6月2日に開所式を執り行い、7月2日よりFIT制度による売電事業を開始しました。 第47回通常総代会 6月19日に福井市のフェニックス・プラザで、通常総代会を開催しました。書面議決書の提出を含む492人(採決時)の出席で、2025年度事業計画など4議案全てが賛成多数で可決承認されました。
5月	◆中東情勢が原油・物流コストの不安要因として意識され続ける ◆食料品の値上げ継続 ◆日銀が政策金利を0.5%に据え置き	
6月	◆主要7カ国首脳会議(G7サミット)が開催され世界経済と安全保障が主要議題となる ◆政府が備蓄米を追加放出し、米の価格対策が政治・くらし双方の焦点になる	6月フードドライブ・7月フードバンク活動 6月2～8日、ハーツ全店と大野・勝山きらめきでフードドライブを実施しました。7月にはフードバンク活動を行い、福井県フードバンク連絡会(事務局：県民生協)として、15事業者より提供を受けた食品を県内の子ども食堂や福祉団体に寄贈しました。 認知症バリアフリー宣言 認知症になっても住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、生活のあらゆる場面で障壁(バリア)を減らしていく取り組みを行う企業として、7月に「認知症バリアフリー宣言」を行いました。 夏休み子ども弁当配達開始 小・中学生のお子さまがいるご家庭の夏休み期間中の昼食をサポートするため、子ども弁当配達サービスを開始しました。 政府備蓄米販売開始 米の価格高騰が続く中、ハーツ各店(7月19日～8月17日)とコープの宅配(7月3回・8月3回)で政府備蓄米を販売しました。
7月	◆6月の記録的高温を受け、熱中症対策が企業・自治体・学校の重要課題になる ◆7月20日の参院選で与党が過半数を失い、政治的不安定化が鮮明になる	福井弁護士会との業務連携に関する協定締結 8月4日、法的なご相談に対し組合員や地域のみなさまが必要な支援に繋がることができるよう、福井弁護士会と業務連携に関する協定を締結しました。 ハーツ神中 道路愛護等功労者表彰 2018年7月のオープン以来、店舗委員会活動の一環として、敷地内および国道8号線沿いの清掃活動を行い環境美化に努めてきた功績が国土交通省に認められ、「道路愛護等功労者」として表彰されました。 コープのくらし応援全国キャンペーン開催 9～11月、物価上昇によるくらしへの影響に対し、宅配120品目、店舗100品目を値下げする「くらし応援企画」に取り組みました。 外国人実習生集合住宅新築工事 地鎮祭 9月8日、本部センター近くに建設予定の外国人実習生集合住宅新築工事の地鎮祭を執り行いました。
8月	◆戦後80年を迎える ◆高温・豪雨などの気候災害が各地で続き、気候変動の影響が経済・生活インフラに直結した ◆8月5日に群馬県伊勢崎市で41.8℃を記録し、日本の最高気温を更新	
9月	◆第80回国連総会が9月9日に開幕し、平和・開発・人権・気候・AIが主要議題となる ◆東京2025世界陸上が9月13～21日に開催され、国際スポーツの大きな話題となる ◆串いすテニスの小田選手が生涯ゴールデンラムを史上最年少で達成	くらし応援全国キャンペーン 外国人実習生集合住宅

	世の中のできごと	県民生協のできごと
10月	◆高市政権発足。日本初の女性首相が誕生 ◆大阪・関西万博閉幕 ◆クマ被害が前年の2倍以上にのぼる	ハーツたけふフードドライブ活動に感謝状 10月4日、フードドライブ活動が評価され、社会福祉事業協助者として越前市社会福祉協議会より感謝状をいただきました。 第8回認知症フォーラム 10月18日、福井県と共催で「認知症フレンドリー社会 in 福井」を開催。「認知症になっても併せにくらせる福井」の実現に向けて、224人の参加者が一緒に考えました。 ひろみちお兄さんと親子体操・講演会 佐藤弘道氏を講師に迎え、10月25日(嶺南会場)、26日(嶺北会場)に親子体操教室を開催しました。また25日には「10年先の健康」をテーマに講演会を開催しました。 クリーンアップキャンペーンの実施 10月29日、地域貢献や環境美化への取り組みの一環として、福井県内の協同組合と連携しクリーンアップキャンペーンを実施しました。県民生協からは役職員250人がボランティアで参加しました。
11月	◆COP30がブラジル・ベレンで11月10～21日に開催され、脱炭素が世界の中心議題となる ◆ドジャース大谷選手が3年連続4度目の最優秀選手賞を受賞	廃食油回収 ハーツ全店で開始 限られた資源を有効活用する循環型社会の構築に向けた取り組みのひとつとして、家庭から出るてんぷら油などの廃食油回収をハーツ全店で開始しました。 秋の地区総代会議 11月5～15日、県内7会場(オンライン1会場含む)で秋の地区総代会議を開催しました。2025年度上期の振り返りと下期方針の提案や、コープ商品の学習会、意見交換を行いました。 ハーツわかさ食品衛生優良施設福井県知事表彰 11月27日、食品衛生優良施設として認められ、福井県知事表彰を受賞しました。
12月	◆2025年ノーベル生理学・医学賞を坂口志文氏(大阪大学特任教授)が受賞。同じくノーベル化学賞を北川進氏(京都大学特別教授)が受賞	社きらめき 開所式 12月8日、社きらめき グループホーム(認知症対応型共同生活介護)の開所式を執り行いました。 医療用ケア帽子寄贈 12月8日、第1地区本部のコープの会「すいせんの会」「チェリーの会」「奥越たんぼわたげの会」が、ボランティア活動の一環として余った布を活用し手作りした医療用ケア帽子を100個、福井県済生会病院に寄贈しました。 福井県フードバンク活動交流会 12月9日、福井県内でフードバンク活動に取り組む事業者・団体で設立された福井県フードバンク連絡会(事務局：県民生協)は、子ども食堂との顔の見える関係づくりをさらに促進するために、こども食堂ネットワークふくいと交流会を開催しました。 県内大学生への食料支援 福井県生協連合会とともに、物価高で困窮している県内5大学の学生500人にパックご飯やレトルトカレー、カップ麺など8点の食料品を贈呈しました。
1月	◆福井県知事選で、石田嵩人氏(35)が現職知事最年少で初当選	
2月	◆ミラノ・コルティナ冬季五輪が2月6～22日に開催 ◆第2次高市内閣発足 ◆日経平均5万8,583円と史上最高値更新	コープでえほんがもらエール 配付開始 子育て世代を応援する新たな取り組みとして、えほんをプレゼントする「コープでえほんがもらエール」の配付を開始しました。 やしろ 社きらめき2期施設 地鎮祭 2月11日、社きらめきの2期施設となる「県民せいきょう小規模多機能ホーム 社きらめきハウス(仮称)」新築工事の地鎮祭を執り行いました。 コープの宅配でダンボールの回収開始 限りある資源を有効活用するために、3月よりコープの宅配でダンボールの回収を開始しました。 認知症の方の社会参加セミナー 開催 3月6日、福井県とともに「認知症の方の社会参加セミナー」を開催し、認知症の方と共に創る未来について考えました。
3月	◆ミラノ・コルティナ冬季パラリンピックが3月6～15日に開催 ◆春闘で賃上げ率が高水準に ◆福井県立恐竜博物館の2025年度来館者数が129万8,975人となり過去最高(前年比+2.7%)	社きらめき2期施設新築工事を開始 認知症と共に創る未来 企業・地域・子育てが「つながる」新しい居場所のカタチ 「1人暮らしの認知症の方への居場所づくり」 認知症の方の社会参加セミナー

コープ商品

信頼されるコープ商品であり続けるために、5つの約束を果たし、
想いをかたちにしていきます。



生協の食品添加物基準

コープの宅配・ハーツで取り扱う商品は、仕様書を確認し、県民せいきょうの
食品添加物基準にあった商品のみを提供しています。

①基本的考え方

「不必要な添加物や有害な添加物を使用しない」を基本に、使用する
場合でも「安全性」「必要性」「有用性」を十分に考慮し、必要最小限
の使用にとどめます。

②自主使用基準

日本生協連の安全性評価の結果に基づき、国が認めた食品添
加物のうち、何らかの制限を加える必要があると判断したものを
「管理添加物」としています。

①	「不使用添加物」 10品目	「安全性を量的に判断する科学的根拠がない物質」及び「遺伝毒性発ガン物質と考えられる品目」で、県民せいきょうで取り扱う 商品には使用しません。 ※医薬品・医薬部外品は除きます。市場流通品で日常的に使用頻度が低く、代替が困難な商品は除きます。
②	「使用制限添加物」 37品目	「安全性を量的に判断できる科学的根拠はあるが、懸念すべき問題がある物質」のことで、コープ商品（日本生協連・コープ北陸・ 県民せいきょう）には使用しないことを基本に、代替ができない原料・商品については取り扱いを行います。 一般商品については仕様書にて使用状況が把握、情報提供ができる状態であれば取り扱いを行います。

安全確認業務（商品検査）

組合員に安心して商品をご利用いただくた
めに、コープの宅配の新規取り扱い商品や
ハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産
直農産品を中心とした残留農薬検査を実施
し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

●2025年度検査数

項目	25年度	24年度	前年比	主な検査商品
商品検査数	8,023 件	7,703 件	104.2%	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・コープの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査	166 件	159 件	104.4%	・福井県産直協議会生産者の農産物など
合計	8,189 件	7,862 件	104.2%	

●工場点検数

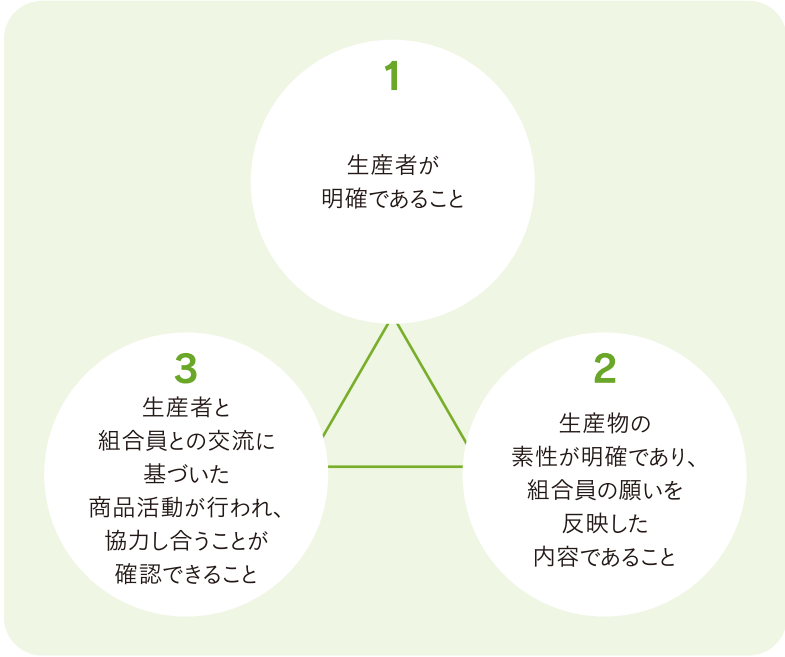
25年度	24年度	前年比
29 件	35 件	82.9%

 HACCPに沿った取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、
基準通り製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。
ハーツ、ハーツ水産PC、食品加工センター、高齢者介護施設きらめきにおいて HACCPに沿っ
た衛生手法で、衛生管理レベルの向上に取り組んでいます。



県民せいきょうの産直三原則



産直協議会の産直交流

産直協議会では、産地見学や出前講座などを通して、生産者と
組合員の交流を積極的に行っています。2024年度は県内の産地を
バスツアーで訪問する見学会や学習会を開催し、産地の状況や生産
者の想いを発信しました。各地域の生産者の声やこだわり、苦労など、
生の声を聞くことで商品のファンになり、生産者の顔が見える関係づ
くりにつながっています。





フジタファーム
ブロッコリー収穫体験



山本農園
すいか収穫体験

本原農園
大根収穫体験

適正農業規範による産地点検

適正農業規範（県民せいきょう版GAP）に基づき、生産者と生協が一緒に
年1回点検を行い、農産物の生産から流通の品質や安全性を高めています。

5つのめざすもの

1

法令遵守と
産直活動の
理解

2

農産物の
安全性確保

3

農産物の
トレーサビリティ、
および適正表示の
確保

4

環境保全型農業の
推進

5

農業者の安全と
健康の確保

ふくいレインボーファーム

つくる、つなぐ、まなぶを通じて福井の元気づくりに貢献

安全・安心で新鮮な農産物を提供することを目的とし、2016年1月に設立した生協農場です。地域と連携を図りながら、県内の農業活性化をめざし、
地産地消推進や耕作放棄地解消などに取り組んでいます。
あわら市で露地園芸、敦賀市で米づくり、施設園芸、みかん栽培を行っています。

 食品加工センター

2018年4月より、JA福井県経済連と連携して、福井県産の農作物を使用した惣菜や
弁当の製造を行う食品加工センターを稼働しました。
食品加工センターでは、野菜の加工や食材セット「COOPのミールキット」「パパッと
COOK」、食事宅配の弁当、ハーツの惣菜、福祉施設の食事などを製造しています。
HACCPに沿った衛生管理を徹底しており、原料受け入れから商品出荷までの各工程で、
食中毒などの危害を未然に防止する取り組みを行っています。

9 サステナビリティレポート 2026

Sustainability Report 2026 10

地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援

安心できるまちづくり（地域へのお役立ち）

福井弁護士会と業務連携に関する協定締結

2025年8月本部センターにおいて、福井弁護士会と業務提携に関する協定を締結しました。今年度の方針「暮らしのお困りごとに対するための相談窓口サービス開設」に向けて、組合員から寄せられる相談のうち、法的助言または対応を必要とする事案について、福井弁護士会が運営する相談窓口を紹介することで、組合員に対し、適切な法的助言や対応を行うことをめざします。



▲2025年8月4日本部センターにて福井弁護士会との協定式

生活困窮者のためのフードバンク・フードドライブ活動・子ども食堂への食料支援

フードバンクは、2014年よりハーツのカップ麺や缶詰、レトルト食品、お米など日持ちする食品を、年3回、社会福祉協議会や自立支援センター、子ども食堂を通じて生活困窮者や必要としている家庭に提供しています。2016年からは、宅配の予備食品を子ども食堂（7団体）に提供することで食品ロス削減に取り組んでいます。2022年度には、食品提供事業者のネットワーク「福井県フードバンク連絡会」を設立し（2026年4月現在22団体）食品収集と提供のしくみを構築しました。

フードドライブは、2019年からハーツ全店舗と奥越の介護施設きらめき2ヶ所においてスタートし、家庭で余っている食品を集めて、福祉施設や子ども食堂に提供しています。フードドライブは食品廃棄ロスの削減にもつながる取り組みです。現在、坂井市・福井市・鯖江市・越前市・大野市・小浜市・若狭町など自治体と連携した取り組みに広がっています。

●2025年度実績

項目	回数	数量(点)	重量(t)	金額換算(千円)
フードバンク活動	6回	45,133	17.3	1,166
宅配の予備食品の子ども食堂への提供	12回	5,535	-	2,669
フードドライブ活動	-	14,201	3.7	-
合計	-	64,869	21.0	-

※フードバンク活動の数量は連絡としての点数と重量、金額は店舗ハーツからの抛出額
※数量は食品に加え一部日用品（紙製品・洗剤）を含んだ点数。重量は食品のみの重量
※また4月より、フードドライブポストを設置し、日常的に受入れをしています

ハーツ全店へフードドライブポストを設置

これまでは、年3回定期的にフードドライブに取り組んできましたが、地域でのニーズの高まりを受けて、2025年4月よりフードドライブポストをハーツに常設し、日常的に受け入れていきます。寄附された食品などは地域のこども食堂や福祉団体に提供していきます。



▲2025年12月9日福井県フードバンク連絡会とこども食堂ネットワークふくいとの交流会



▲2025年3月25日坂井市役所においてフードドライブに関する協定締結式とフードドライブポスト設置式を行いました



ハーツにある常設のフードドライブポスト

認知症セミナーの開催

2026年3月福井県と共催で「認知症の方の社会参加セミナー」を開催しました。企業・地域・介護が「つながる」新しい共生のかたちと題して、基調方針とパネルディスカッションを行い、約90名の介護関係者の参加がありました。県民せいきょうは認知症の人や高齢者がゆとりをもって買い物ができるハーツでの「ゆくりレジ」の取り組みを紹介しました。



▲2026年3月6日福井県自治会館にて開催

県内大学生への食糧支援

2025年12月福井県生協連合会と連携し、コロナ禍以降も物価高で苦しむ県内5大学の学生に食料品を贈呈しました。学生からは「物価高で困っていたのでとてもありがたい」「研究で遅くなった時、一人暮らしには助かる」など嬉しい声をいただきました。



▲2025年12月15日福井大学での贈呈式

労働者協同組合の立ち上げ・運営支援

県民せいきょうでは、働く人が主体となる「労働者協同組合」の設立支援に取り組んでいます。その一環として、地域で活動する「ふくい絵本くらぶ」が同組合として法人化する際、立ち上げの伴走支援を行いました。これからも、地域の人々がいきいきと活躍できる、持続可能な地域づくりに貢献していきます。



海岸清掃活動

1997年の「ナホトカ号重油流出事故」を契機として、毎年海岸清掃活動を続けています。2025年9月に鷹栖海岸、三国サンセットビーチの2カ所で開催し、約240名がクリーンアップに取り組みました。海を守るこの活動を通じて、これからも持続可能な地域環境の保全に貢献していきます。





ハーツたけふのフードドライブの取り組みが評価され、社会福祉事業協力者として、2025年10月越前市社会福祉協議会より感謝状をいただきました。ハーツたけふに寄付されたフードドライブ食品は、越前市社会福祉協議会に寄贈され、地域のこども食堂などに提供されています。





地域美化への長年の貢献：ハーツ神中店舗委員会に感謝状

ハーツ神中店の店舗委員会は、「地域で一番きれいな店」をめざし、隣接する国道8号沿いの歩道の清掃・美化活動に日々取り組んでいます。長年にわたるこの道路愛護への貢献が評価され、2025年8月国土交通省福井河川国道事務所から感謝状授与となりました。店舗委員会による主体的な活動が、地域環境の美化を力強く支えています。



組合員活動・総代・市民活動助成金

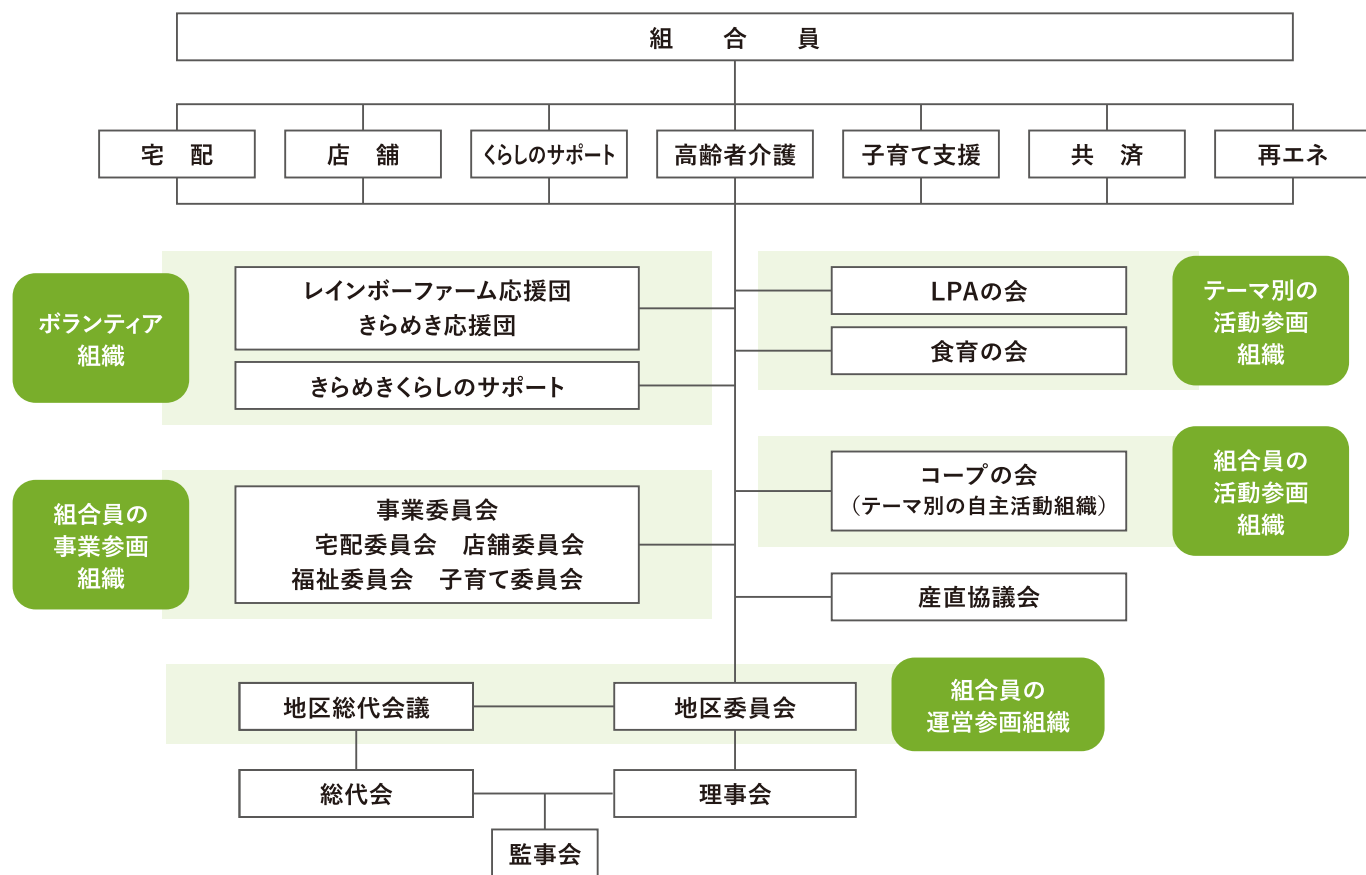
県民せいきょうは、組合員一人ひとりの声と参加によって成り立っています。日常のくらしを豊かにする学びや交流の場である「組合員活動」に加え、組合員の代表である「総代」を通じて、皆さまの意見や願いを直接事業や運営に反映しています。今後も「参加・参画」を大切にし、組合員と共に歩む組織づくりを推進してまいります。

組合員活動組織

運営参加人数 5,302人 活動参加人数 18,237人



▲おしごとキッズ



こーぷの子育てモニター

子育て中の組合員を対象とした「こーぷの子育てモニター」を開催しました。年3回のコープ商品の試食とオンライン学習会の参加、年1回のわいわいるんカフェに参加していただきました。子育て中の組合員が自宅から企画に参加できる新たなカタチとなりました。

また、「こーぷの子育てモニター」の参加者を対象にしたおやきづくりの企画も開催しました。



▲わいわいるんカフェ（ハーツさばえ）

地区総代会議、総代通信

組合員の代表である総代を対象に、年2回の地区総代会議を開催し、事業や日頃の生協に対する声を聞き、方針に反映させています。総代には年2回アンケートを行い、重点方針の理解度や進捗に対する評価を受けています。



2025年度よせられた組合員の声

- 宅配 …… 少量規格の要望、eフレンズ・宅配アプリ(利便性向上・学習会)・宅配ロッカーについて
- 店舗 …… クイックレジについて、ポイントの使い方について、ハーツアプリについて、品揃えについて
- くらしのサポート …… ハーツ便・ハーツのネットスーパーおつかいさん、ベビー用品レンタルについて、くらしの相談業務への期待
- 高齢者介護 …… きらめきへの感謝、施設開所への期待、きらめき保健室について
- SDGs …… 食品ロス削減への取り組み評価、空缶・透明トレイのリサイクル、フードバンク・フードドライブの拡大、水力発電への期待
- 組合員活動・広報 …… SNS取り組み推進、生産者との交流、フレイル予防・健康講座の要望、男性の運営参加について
- その他 …… 出資金について、職員の処遇について

市民活動助成金制度

県民せいきょう市民活動助成金制度は、県内の公益的社会活動に取り組む市民団体やグループの活動を資金面で支援する制度です。2006年度より行っており、今回で21回目となります。今回の助成団体は社会貢献基金運営委員会での評価の結果、15団体を助成候補団体として選出し、総額100万円を助成していきます。

今後、助成団体への情報提供やイベントでの連携を進めながら、つながりや交流を作っていきます。

活動エリア	団体名	活動分野
坂井・あわら	Cheers	子育て支援
坂井・あわら	NPO Happy Smile	子育て支援
県内全域	笛吹きクローバー	福祉
県内全域	特定非営利活動法人 ふくいこどもホスピス	福祉・子育て支援
県内全域	一般社団法人 終身サポート協会 福ゆかり	福祉
福井・敦賀	福井多胎ネット	子育て支援
県内全域	Yona	子育て支援
丹南	オカリナグループ 花音	福祉

活動エリア	団体名	活動分野
丹南	サトヤマWORKS	スポーツ・健康
敦賀	元気食堂	生活困窮支援・居場所づくり
敦賀	やなぎの会	文化芸術
敦賀	れでい♡がん	福祉
美浜	国吉食堂	生活困窮支援・居場所づくり
小浜	NPO ヨダカの森	環境
小浜	小浜市防災士の会	災害ボランティア

こーぷの学校

子育て中の組合員が親子で楽しみながら生協について知っていただけるよう、各地区ごとに毎回工夫を凝らした企画が開催されました。



新米でおにぎりを作ろう！▶

子ども平和新聞プロジェクト



被爆・戦後80周年の節目の年に「子ども平和新聞プロジェクト」を開催し、4名の小・中学生が参加しました。次世代を担う子どもたちが平和について学び、自らの目で見、感じたことをまとめ、「子ども平和新聞」を完成しました。



ひろみちお兄さんと親子体操教室

2025年10月、佐藤弘道氏を講師に招き、子育て世代向けの「親子体操教室」と幅広い世代を対象とした「健康講演会」を開催しました。親子体操は身体を使った遊びを通じて親子の絆と健康への意識を深めました。また、講演会では、10年先の健康を見据えた生活習慣の重要性を学びました。両企画を通じて生協の取り組みを周知し、組合員の心身の健康維持と豊かなくらしの実現に貢献しました。



コープでえほんがもらエール

次世代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、本とのふれあい、親子のコミュニケーション促進を通じて子育て支援をめざします。

第1回応募期間(2025年10～12月)で、1,330名のお申し込みをいただきました。

応募対象 お申し込み時点で1～2歳のお子さまと同一世帯の組合員



笑顔でスタート!入学応援プレゼント

2025年4月に小学校へ入学のお子さまがいる保護者の方を対象とした「笑顔でスタート!入学応援プレゼント」を福井新聞社と共同で行いました。

※2024年6月福井新聞社と連携協定を締結しました



サポートチャット開始

2025年9月よりコープの宅配で「サポートチャット」がスタートしました。商品や注文で分からないことをご自身で調べることができ、チャット機能もあるので、新たな形で組合員の声に応えることができました。

ご利用方法



買物支援の取り組み

県内における買物困難の解消に向けて多様な支援策を展開しています。県内各地を巡る移動店舗「ハーツ便」、店舗への送迎を行う「お買物バス」、手軽に注文できる「ハーツのネットスーパーおつかいさん」を通じて、組合員の豊かな暮らしをサポートしています。

車体デザイン

移動店舗「ハーツ便」



お買物バス



ハーツのネットスーパーおつかいさん



COOPのミールキット

2025年11月より坂井・福井・奥越エリアで、管理栄養士監修の主菜・副菜が下ごしらえ済みで食材とレシピが届く、らく育ミールがスタートしました。

献立を考える手間を省き、短時間で食事作りが出来ることが好評で、2026年4月よりカット・下処理済みの「かんたんミール」コースも加え、県内全域(食事宅配エリア)に拡大しました。



夏休み子ども弁当

2025年6月にスタートした「夏休み子ども弁当」は、保護者の皆様の負担軽減や子どもたちの食の安心に繋がるとして大変ご好評をいただきました。

そのお声に応え、現在では夏休みだけでなく秋・冬・春のすべての長期休暇に期間を拡大し、年間を通じた昼食サポートを実施しています。



社きらめき 開所

2025年12月福井市立みどり図書館近くに、「社きらめきグループホーム(認知症対応型共同生活介護)」が開所しました。福祉事業の理念である「あなたらしさいつまでも」を大切に利用者に寄り添ったサービスを行います。

また、2026年2月には社きらめき2基施設となる小規模多機能型居宅介護の地鎮祭を執り行いました。



ケア・サービス・アイ 統合

地域における福祉・介護の支援ネットワークをより一層強化するため、2025年4月に株式会社ケア・サービス・アイと統合いたしました。これまで両者がそれぞれに培ってきたノウハウや専門性を結集することで、高齢者や支援を必要とする方々が、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられる環境づくりを推進します。

今後も組合員と地域社会の多様なニーズに寄り添い、より質の高い包括的なケアサービスの提供に努めてまいります。



はじめてばこの取り組み

福井に生まれた赤ちゃんの明るい未来を祝福しようと、福井テレビ子育て応援プロジェクトに協賛し、「FUKUI HAPPY BABIES 〜はじめてばこ〜」の取り組みを2019年1月から行っています。

福井県をイメージしてデザインされた『はじめてばこ』の中には、赤ちゃんのはじめての記念を写真で残すためのアルバムや、コープの赤ちゃん用品などが詰められており、応募があったご家庭にお贈りしています。



ハーツ恐竜秋祭り開催

オープンから1年を迎えた「ハーツ恐竜」にて秋祭りを開催しました。ハーツ恐竜をはじめ、各店舗においても日頃の感謝を込めた周年祭を順次開催しています。

これからも、地域に密着した店舗運営を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。



多様性を認め合う活力ある組織をめざして

多様な働き方に対応できる雇用フレーム（勤務エリアや職務範囲の制限）やキャリア形成支援、心と身体の健康維持、増進活動などの支援を行っています。

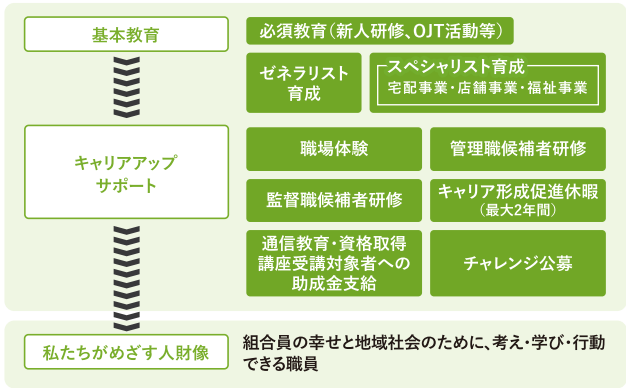
仕事と家庭の両立支援制度では、独自の育児休暇制度としてベビー休暇制度（男性の育児休暇）や、1日2時間短縮して働くことができる短時間勤務制度があります。また、子育て支援制度（企業内託児）によって、育児と仕事の両立を支援しています。

●2025年度育児休業取得率

男性	100.0%
女性	100.0%

学び育む教育制度

入協後には新人研修やOJT活動などの必須教育、ゼネラリスト育成、スペシャリスト育成といった職員一人ひとりに応じた教育を行っています。さらに、職員の「学びたい」ニーズに応えるために通信教育や資格取得、研修受講に対する助成金制度を設けています。



職員意識調査

毎年1回、組織に対する思いや各施策に対する理解度や意見・要望を把握するために全職員に対し、「職員意識調査」を実施しています。その中で理念やビジョンに共感し、仕事にやりがいを持ってイキイキと働く職員を「コアパーソン」と位置づけています。職員意識調査の結果や職員の声を分析し、翌年度の施策に反映することで、組合員・利用者にしっかりと向き合うことができる職員育成と、それを支える土壌づくり（組織風土）に取り組んでいます。

●コアパーソン比率 80.9%

経営品質活動の取り組み、アイデア提案制度、仕事品質向上活動

職員による改善
〈アイデア提案制度 ～小さな気づきからの改善と仕事品質の向上～〉

職員の気づきから仕事の品質向上につなげ、組合員満足度の向上につなげる提案制度で、年間約1,500～2,000件の提案があります。毎月管理職会議で効果のあった提案について投票し、「グッドアイデア月間MVP」を決定しています。生協内で表彰し、MVPニュースで共有しています。他の事業所でも好事例を活用できないか話し合い、一人の職員のアイデアを全体へつなげる取り組みを行っています。

〈仕事品質向上活動 ～チームで進めるお役立ち価値・仕事品質の向上～〉

仕事品質の向上を図り、組合員利用者の満足度向上へつなげることを目的に、事業所やチーム単位で課題や「あるべき姿」について話し合い、テーマを設定、改善に取り組んでいます。



計画的な有給取得と「部分的週休3日制」の導入

職員のワークインライフ推進と働きがい向上をめざし、働き方改革を推進しています。有給休暇は全職員が年度初めに計画を立て、計画的に消化。2025年度の取得率は全体で74.1%、平均11.5日となり、全員が7日以上を取得しました。また、新たに「部分的週休3日制」を導入し、年間休日を126日へ拡大。既存のフレックスタイム制と組み合わせ、多様で柔軟な働き方をサポートしています。

●2025年度実績

雇用区分	有給取得率	一人あたり平均取得日数
R・L職員【正規職員】	59.5%	10.0日
P・E職員【非正規職員】	82.6%	12.2日
全体	74.1%	11.5日

継続的な人財確保に向けて奨学金返還支援制度の導入

若年層の採用強化と定着（継続的な人財確保）を目的として、新たに「奨学金返還支援制度」を導入しました。奨学金の返済という若手職員の経済的負担を組織として支援することで、日々の業務に安心して打ち込める職場環境を実現します。



共済会り～ふ

共済会「り～ふ」は職員の相互扶助の精神に基づいて作られた福利厚生のための組織です。健康診断補助などの健康・医療事業、職員の慶弔に対する慶弔金、資格取得や通信教育受講費の補助を行っています。さらに、職員交流のための団体旅行や年賀会企画、職場内交流会援助などを行っています。

ほのぼのハーツ（障がい者雇用）

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために障がい者福祉サービス事業所（就労継続支援）として事業を行っています。主に県民せいきょうの事業所（COOP宅配センター・エコセンター・農産加工センター）で、一般就労に近い環境の中、現在約70名が生協関係職員と一緒に仕事をしています。

ほのぼのハーツ 法人理念

「誰もが、安心してくらせる地域社会をめざします」

身だしなみ基準の見直し

職員が互いの多様性を認め尊重し、一人ひとりが意欲を持って働ける環境を整える取り組みとして、身だしなみ基準を見直しました。

身だしなみの基本的な考え方

- ① 原則自由とし、保健衛生・食品衛生法・労働安全衛生法の観点から衛生的で安全な動きやすいものとします
- ② 制服を正しく着用します
- ③ 清潔感があり好感が持てるものとします

自分らしさや能力を最大限に発揮し、これまで以上に生産性と業務品質を向上させることで、組合員・利用者の皆さまへの満足向上につなげていきます。

健康優良法人

従業員の健康増進を重要な経営課題と位置づけ、多様な健康支援策を展開しています。このたび、その実績が評価され「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されました。引き続き、職員が健康で活力に満ちて働ける職場づくりを通じて、持続可能な組織と地域社会の実現に貢献してまいります。



プラチナくるみん・プラチナえるぼし

2017年に次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」としてより高い水準の取り組みを行ったことが認められ「プラチナくるみん」に認定されました。さらに2020年には女性活躍推進法に基づき、取り組み状況が特に優良であるなど一定の要件を満たしたため、「プラチナえるぼし」に認定されました。両方の「プラチナ」認定を受けた企業としては全国初となります。



認知症バリアフリー宣言

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会をめざし、2025年7月「認知症バリアフリー宣言」を取得しました。認知症への理解を深める職員研修の実施や、店舗・宅配での温かい見守り・声かけ活動などを通じて、認知症の方やそのご家族を地域全体で支える仕組みづくりに貢献してまいります。



再生可能エネルギー・3Rの推進

COOP黒河川水力発電所

2018年から事業検討を行い、2023年より工事着工、2025年6月に完成し運転を開始しました。流量1.8m³/s、落差34.0m、発電出力499kW、年間総発電量3,130MWの水力発電所です。一般家庭約1,000軒分の電力をまかなう発電所となっています。エネルギー源は水なので、自然を汚すことやCO₂を排出することなく発電を行うことができます。6月には関係者立ち会いのもと開所式を行いました。20年間はFITの固定価格買取制度を活用した売電を行いますが、以降も地域の電源として活用し続ける予定です。



見学会も開催しました！

参加者の声

これまで生協のSDGsは商品や日々の買物に関するものというイメージでしたが、今回のツアーで水力発電の仕組みを学び、太陽光や水力といった再生可能エネルギー分野への幅広い取り組みを知り、感銘を受けました！

太陽光発電システムの設置拡大

固定価格買取制度を活用し、太陽光発電の設置を進めてきましたが、2021年度からは、自家消費型太陽光発電の導入を進めています。2024年度にはハーツはるえ・恐竜、カタログセットセンターに自家消費型太陽光発電設備を導入しました。太陽光発電は、FITで2274.5kW、自家消費で2224kW、合計4498.5kWの設備容量となりました。



生協グループの発電設備（FIT15ヵ所、自家消費11ヵ所） ※2026年4月現在

【FIT】	・丸岡物流センター(坂井市)	450kW	・ハーツ志比口(福井市)	49.5kW	【自家消費】	・要冷物流センター(福井市)	750kW	・ハーツさばえ(鯖江市)	100kW
	・本部センター(福井市)	30kW	・ハーツさばえ(鯖江市)	49.5kW		・カタログセットセンター(福井市)	126kW	・ハーツ神中(鯖江市)	150kW
	・店舗物流センター(福井市)	250kW	・ハーツたけふ(越前市)	49.5kW		・ハーツはるえ(坂井市)	187.5kW	・ハーツたけふ(越前市)	125.5kW
	・丹南センター(鯖江市)	49.5kW	・ハーツつるが(敦賀市)	49.5kW		・ハーツ羽水(福井市)	100kW	・ハーツつるが(敦賀市)	100kW
	・敦賀センター(敦賀市)	49.5kW	・ハーツわかさ(小浜市)	49.5kW		・ハーツ志比口(福井市)	126kW	・ハーツわかさ(小浜市)	333kW
	・ハーツはるえ(坂井市)	49.5kW	・第2生鮮加工センター(福井市)	49.5kW		・ハーツ恐竜(福井市)	126kW	自家消費合計	2224kW
	・ハーツ羽水(福井市)	49.5kW	・北陸トラック(福井市)	1000kW					
	・ハーツ学園(福井市)	49.5kW	FIT合計	2274.5kW					
					FIT+自家消費				4498.5kW



温室効果ガス削減計画

2030年までに2013年対比50%の温室効果ガスを削減することを目標に温室効果ガス削減計画を設定して取り組みを進めています。「減らす(省エネ)」だけでは難しい目標を、「つくる(創エネ)」と「再エネ活用」により達成させていく計画となっています。施設の省エネは新規出店や改装時を中心に、また、フロン対策にあわせて機器の入れ替えや導入を行っています。

	実績			成り行き予測			対策効果			計画
CO ₂ 排出量	13年度	25年度	30年度	省エネ	創エネ	再エネ活用	30年度			
店舗CO ₂ 排出量	6,697t	5,094t	6,745t	▲246t	▲3,878t	▲2,431t	4,745t			
宅配CO ₂ 排出量	1,169t	1,193t	763t							
物流CO ₂ 排出量	266t	1,473t	2,199t							
本部CO ₂ 排出量	191t	221t	179t							
福祉CO ₂ 排出量	1,168t	1,158t	1,414t							
合計CO ₂ 排出量(2013年度比)	9,491t	9,138t	11,300t							
	-	96.3%	119.1%				50.0%			

※25年度実績は前年度のCO₂排出係数で試算

リサイクルの取り組み

3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進のために、県民せいきょうではリサイクルの取り組みを積極的に進めています。

容器包装リサイクル回収量



回収している資源とリサイクル品

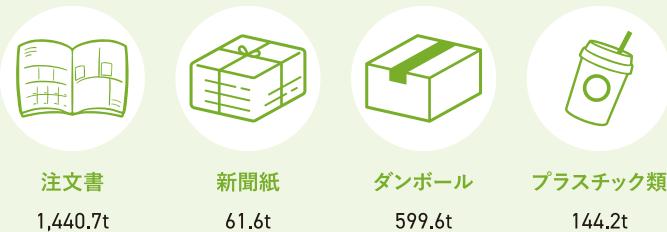
ダンボール	→	紙製品
新聞紙	→	新聞紙など
注文書(コープファミリーなど)	→	注文書
牛乳パック	→	紙製品
個人仕分袋・注文書袋	→	プラスチック製品
ペットボトル	→	ペット素材の原料
卵パック(A-PET)	→	プラスチック製品
食品トレイ	→	プラスチック製品
エコキャップ	→	原料
アルミ缶・スチール缶	→	原料
小型家電	→	原料
廃食油	→	飼料や石けん

エコセンター

2015年6月に設立した「エコセンター」では、組合員や事業所から回収した紙やプラスチック類を集約し、高品質なリサイクルのための一次加工を行っています。また、本施設は関係団体の「一般社団法人ほのぼのハーツ」と連携した障がい者雇用の場でもあり、就労支援の拠点としても位置づけています。資源循環と多様な人材の活躍推進という両面から、持続可能な地域社会に貢献しています。



エコセンター外観



ダンボール・廃食油の回収スタート

資源循環の取り組みをさらに進めるため、新たな回収サービスをスタートしました。コープの宅配では「ダンボール」の回収を新たに開始したほか、ご家庭の「廃食油」の回収をコープの宅配および各店舗(ハーツ)の両方で開始しています。組合員の皆さまがより気軽に参加できるリサイクルの仕組みを広げることで、身近なところからごみの減量と環境負荷の低減に繋がってまいります。



コープのエシカル消費キャンペーン

県民せいきょうでは、毎年6月と10月の年2回「エシカル消費キャンペーン」を実施しています。エシカル消費とは、お買物に環境や社会など他者への視点をプラスすることです。これを「誰かの笑顔につながるお買物」と表現し、「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点から推奨しています。日々の消費行動を通じて持続可能な社会に貢献できる取り組みを、今後も進めてまいります。



福井県内自治体別 各種協定締結一覧

市 町		あわら市	坂井市	勝山市	大野市	福井市	永平寺町	鯖江市	越前市	越前町	池田町	南越前町	敦賀市	小浜市	美浜町	若狭町	おおい町	高浜町	締結数	福井県
災害物資協力協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	○
災害発生時福祉避難所設置運営協定	対象事業所	—	—	—	大野 きらめき	宝永きらめき 江守きらめき 岡保きらめき	—	鯖江 きらめき	丹南 きらめき	—	—	—	敦賀 きらめき	ハーツタウン わかざ	—	—	—	—	6自治体 8事業所	
地域見守り活動協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	
包括連携協定	協定の有無				○			○	○			○	○	○					5市1町	
レジ袋削減協定	協定の有無		○			○		○	○				○	○					6市	○

地域の自治体関係団体への主な委員一覧

	機 関 名	役 職 名
経営	福井経済同友会	幹事
	福井商工会議所	議員
	一般社団法人福井県経営品質協議会	副会長・運営委員
福祉介護	福井県社会福祉協議会	評議員
	福井県小規模多機能居宅介護支援事業所連絡協議会	事務局長
	福井県認知症キャラバン・メイト協議会	委員
	福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会	理事
	大野市結の心つながる支え合いの地域づくり推進会議	委員
	大野市大野地区第二層協議体	委員
	大野市富田地区第二層協議体	委員
	大野市徘徊高齢者SOSネットワーク事業	委員
	勝山市介護保険運営審議会	委員
	奥越地区障害者自立支援協議会	委員
	福井市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	越前市介護予防・生活支援サービス協議体	委員
	越前町生活支援事業協議体会議	委員
	越前市介護保険運営協議会	委員
	福井県長寿医療運営懇話会	委員
	鯖江市介護予防・日常生活支援推進協議体	委員
	鯖江市在宅医療・介護連携推進協議会	委員
	鯖江市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会	委員
	敦賀市介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
	美浜町介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
労働	小浜市介護予防・日常生活支援総合支援事業推進協議体	委員
	敦賀市介護認定審査会	委員
	敦賀市認知症支援推進協議会	委員
	大関まちづくり協議会	委員
	一般社団法人福井県介護福祉士会	理事
	あわら市安心生活ネットワーク連絡会	委員
	あわら市社会福祉協議会	評議員
	あわら市認知症地域支援推進委員	推進委員
	ケアマネSAKAI	運営委員
	公益社団法人認知症の人と家族の会	理事
その他	福井県介護者支援における有識者会議	委員
	大野市認知症カフェ連絡会	委員

	機 関 名	役 職 名
福祉介護	あわら市日常生活圏地域ケア会議	委託委員
	坂井地区広域連合地域包括支援センター運営協議会	委員
	坂井地区広域連合介護認定審査会	委員
食育農業	ふくい食育・地産地消推進県民会議	委員
	福井県農林水産業活動化支援研究強化会議	外部評価委員
	福井市食育推進会議	委員
	厳選・ふくいの味認証委員会	委員
	鯖江市食育基本計画策定委員会	委員
	元気さばえ食育推進会議	委員
	福井市水産加工品開発等検討会	委員
環境	越前市食と農の創造審議会	委員
	環境ふくい推進協議会	委員長・育成支援部会長
	福井市環境推進会議	委員
	福井市くらしと環境をよくなる会	企画委員・会長
	福井市廃棄物減量推進会議	委員
	鯖江市ごみ問題懇話会	委員
	鯖江市環境まちづくり委員会	委員
ボランティア	つるが環境みらいネットワーク	委員
	大野市脱炭素推進会議	委員
	福井県災害ボランティアセンター連絡会	委員
労働	福井県ボランティアセンター運営委員会	運営委員
	福井公共職業安定所	公正採用選考人権啓発推進員
	福井県労働者福祉協議会	幹事
男女共同参画	公益財団法人福井県労働者福祉基金協会	理事・評議員
	一般社団法人福井県労働福祉会館	理事
	ふくい協同労働推進協議会	共同代表
	坂井市男女共同参画審議会	委員
	福井市男女共同参画ネットワーク	委員
その他	鯖江市男女共同参画審議会	委員
	さばえ男女共同参画ネットワーク	理事
	つるが男女共同参画ネットワーク	理事
	小浜男女共同参画ネットワーク	理事
	福井市社会福祉審議会 こども専門分科会	委員

福井県民生活協同組合はSDGs（持続可能な開発目標）の達成のための取り組みを推進していきます



県民せいきょうは、「組合員の幸せと地域社会のために」という基本理念のもと、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員、地域との協力の力で取り組んできました。誰ひとり取り残さないというSDGsのめざす姿は、生協の理念と重なります。経済成長、社会的包摂、環境保護の3つの主要素を調和させながら、SDGsの17の目標を、県民せいきょうが取り組む事業や活動に重ね、持続可能な社会を福井の地で構築していくことをめざしていきます。



福井県民生活協同組合は、SDGsの達成に貢献することを宣言します

県民せいきょうでは福井県のふくいSDGsパートナーで宣言を行い、連携協働の取り組みで持続可能な地域社会づくりに向けて事業や活動を展開しています。

〈県民せいきょうの宣言内容〉

地域課題に向き合い、事業と活動を通して、将来にわたり誰もが安心してらせるふくいづくりに寄与します

- 次世代を担う子どもたちの未来を応援します
- エシカル消費を推進します
- 地球温暖化防止と循環型社会の実現をめざします
- 地域で一番働きたいと思える職場をめざします

（達成に向けて取り組む主なゴール）

